バワライ (1933)

THE BOWERY

メディア 映画

ジャンル ドラマ コメディ

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 92分

初公開日 1934/04

公開情報 劇場公開

【解説】

WB社でジャック・ワーナーの右腕として活躍していたダリル・F・ザナックが、ワーナー兄弟と対立し同社を辞め、33年、ジョセフ・M・スケンクと設立した20世紀映画の記念すべき第一回作品。監督は後に吸収合併するFOXから、主演のビアリーとクーパーはMGMから、と寄せ集めだが、既に同社のカラーは打ち出されている。NYのバワリー区、時は“Gay Nineties”と呼ばれた1890年代。限界一の人気者チャック（ビアリー）は気は優しいが腕っぷしでは負けない、キャバレー経営者兼消防団長で、好敵手スティーヴ（ラフト）とは会えばいつも喧嘩。ある日、ルーシー（F・レイ）という女を拾ったことで、同居していた孤児のスワイプス（クーパー）が嫉妬し家出、ライバルの下へ走る。スティーヴはNo. 1の座を奪取せんと、ブルックリン橋から飛び込む計画を立てるが、チャックは一笑に付し、葬式の準備をしてからかう。しかし、スティーヴは本当に実行、賭けで店は彼のものに。失意のチャックは米西戦争に出征するといきまわが……。まさにこの街に当時生まれたウォルシュが、ノスタルジアを籠めて描く男の友情物語。外見通りにタフでかつ愛くるしいビアリー、いつもクールなラフトのどこか人なつっこい演技、ツボを押さえたクーパーの泣かせ役……30年代初頭の映画の活力を今に伝える傑作アクション・コメディだ。

【クレジット】

監督	ラオール・ウォルシュ	Raoul Walsh	
製作	ダリル・F・ザナック	Darryl F. Zanuck	
原作	マイケル・L・シモンズ ベシー・ロス・ソロモン	Michael L. Simmons Bessie Roth Solomon	
脚本	ハワード・エスタブルック ジェームズ・グリーソン	Howard Estabrook James Gleason	
撮影	バーニー・マッギル	Barney McGill	
編集	アレン・マクニール	Allen McNeil	
音楽	アルフレッド・ニューマン	Alfred Newman	(クレジットなし)
出演	ウォーレス・ビアリー ジョージ・ラフト ジャッキー・クーパー フェイ・レイ パート・ケルトン ジョージ・ウォルシュ オスカー・アッフェル フェルディナンド・ムニエル	Wallace Beery George Raft Jackie Cooper Fay Wray Pert Kelton George Walsh Oscar Apfel Ferdinand Munier	チャック・コナーズ スティーヴ・プロディ スワイプス・マクガーク ルーシー・カルフーン トリキシー・オドブレイ ジョン・L・サリヴァン アイヴァン・ラメル オネスト・マイク